

環境振動運営委員会 議事録（案）

- A. 日 時 2012年1月17日 火曜日 17:30～19:30
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 横山主査, 他 11名
- D. 提出資料（提出委員名）
 - No.5-1 前回議事録案
 - No.5-2 環境振動測定分析小委員会活動報告
 - No.5-3 環境振動制御技術小委員会議事録案
 - No.5-4 環境振動広報 WG 議事録案
 - No.5-5 第30回環境振動シンポジウム（2012年1月20日）参加申込者リスト
 - No.5-6 第30回環境振動シンポジウム 論文集

E. 議事内容

O. 前回議事録確認（資料 No.5-1）

- ・議事内容 1. 環境工学本委員会報告 2013/3/1 → 2012/3/1 に修正
 - ・1. 7行目削除
 - ・2. 2-1 8行目削除 7行目 方向生涯→歩行障害
 - 2-3 5行目 「活動が詰まったときは、違うテーマにすることもある。」に変更
 - 10行目 「検索だけに着目しなくてもよい。」に変更
 - 2-6 2行目 事例要求評→「事例シートを作成中」に変更
 - ・3. 「あゆみ」の原稿 騒音制御工学会以下削除

1. 環境工学本委員会報告

- ・今回は本委員会は無し。小委員会, WG の年度計画も提出のこと。

2. 各小委員会・WG 活動報告

2-1. 制御技術小委員会（資料 No.5-3）

- ・9/14 開催分について, 資料に基づく報告があった。(再掲)
- ・文献調査は解析ツールを持たない委員が実施している。
- ・スパンと固有振動数でまとめている。
(勘と経験で合わせこむ: 各社まちまち) →統一した解析手法は無理か
ブラインド解析のばらつきから方法論が導き出せるか→注意点の抽出ではどうか。

2-2. 設計小委員会

- ・11/06 開催分について, 報告があった。
- ・設計指針と評価指針の分離を考えている。ISOTC108 の評価を参照する。
- ・信頼性設計にはシフトしない →建築学会は性能設計にシフト→ISO と差別化が出る。
そこがポイント。

2-3. 広報 WG（資料 No.5-4）

- ・議事録の提出要請。

2-4. 戸建 WG

- ・対策事例集を3月までにはFIXする。web 上で公開。

2-5. 広域評価 WG

- ・12/13 開催分について報告があった。
- ・12/18, 19 に五反田駅周辺の国道1号線と中原街道でデータ転送の実験を行う。セン

サー数 6 台.

- ・ 軟弱地盤 1 号線、やや硬い地盤 中原街道

2-6. 測定分析小委員会 (資料 No.5-2)

- ・ 01/16 開催分について、資料に基づく報告があった.

— JR 武蔵境駅沿線実測：高架化施工前と後の比較、委員の研究室と共同で実施.

施工前：誰でもが感じた

施工後：感じない人もいた。上下線で差異があった.

— アンケート調査：過去 5 年の事例、振動源 (内外関係ないが家屋内で測定) 「研究かクレームか」、「事例と経験」、「測定評価：振動加速度か振動レベルか」

- ・ 加速度か変位か区別してアンケートすべき
- ・ 法律をベースにするなら、dB である.

3. 第 30 回環境振動シンポジウムについて

- ・ パネルディスカッションの司会を 1 名交替.
- ・ 記録は活動レポート
- ・ 「あゆみ」は web で公開.
- ・ 来年の 31 回シンポジウムの会場予定は 2013 年 1 月 25 日 (金)

4. その他

— 次回 2012 年 4 月 16 日 (月) 17:30~

以上